

2月3日は節分の日だったため、施設内で「豆まき」をしました。職員が制作した鬼の的当てに向かってご利用者様が力強く投げたい・優しく投げたいと様々でしたが、季節を感じる時間を一緒に過ごしました。

昼食も行事食として「海鮮ちらし」を提供させていただき、喜んで召し上がっておりました。

今後も、感染対策を徹底し季節に合った取り組みをしていきたい思います。



■「桃の節句」にまつわる食べ物

「桃の節句（ひな祭り）」に食べる物といえば、ひなあられやちらし寿司、はまぐりのお吸い物などが挙げられます。これらの食べ物を食べる理由をご存じでしょうか。晴れの日に食べる物の意味や由来についてまとめました。

<ちらし寿司>

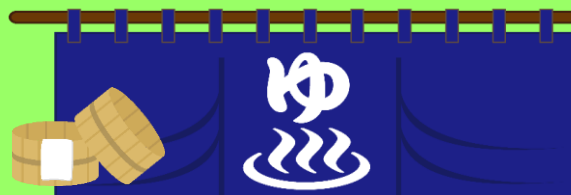
もともとは、平安時代に現在のお寿司の起源とも言われている「なれ寿司」に、エビや菜の花を乗せて彩りをよくして食べられていたのが由来とされています。現代に受け継がれていくうちに、より華やかで見栄えのするものに変化していき、やがて今の「ちらし寿司」になったと考えられます。ちらし寿司に載っている具材にも、それぞれに意味があります。

エビ:腰が曲がるまで長生きできますように

レンコン:先が見通せるように

豆:健康でマメに働く

具材に込められた意味を知れば、より有難みも増しますね!



日本では「季節風呂」としてその時期の旬の果物や野菜などを使ったお風呂を楽しむ文化があります。今回はこの時期ならではの「みかん風呂」を体験してみました!みかんのさわやかな香りが浴室に広がり心も体も温まりました。



社会福祉法人うえるかむ

- 地域密着型特別養護老人ホーム てらす鉤取
- 併設型ショートステイ てらす鉤取

☎022-393-7571

